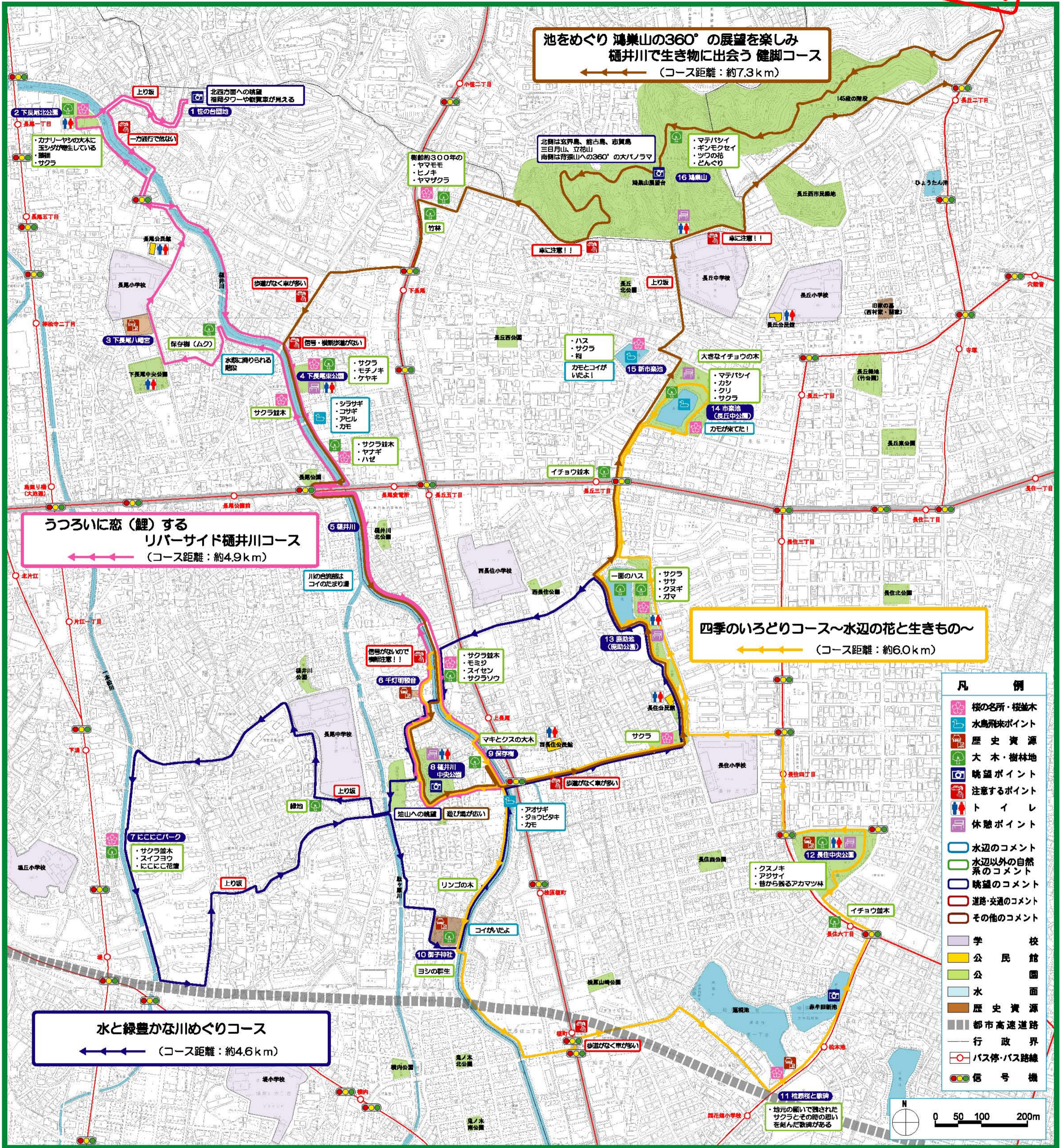


樋井川・ため池魅力めぐり

南区&城南区編



池をめぐり 鴻巣山の360°の展望を楽しみ
樋井川で生き物に出会う 健脚コース
(コース距離: 約7.3km)

うつろいに恋(鯉)する
リバーサイド樋井川コース
(コース距離: 約4.9km)

四季のいどりコース~水辺の花と生きもの~
(コース距離: 約6.0km)

水と緑豊かな川めぐりコース
(コース距離: 約4.6km)

- 凡例
- 桜の名所・桜並木
 - 水鳥飛来ポイント
 - 歴史資源
 - 大木・樹林地
 - 眺望ポイント
 - 注意するポイント
 - トイレ
 - 休憩ポイント
 - 水辺のコメント
 - 水辺以外の自然系のコメント
 - 眺望のコメント
 - 道路・交通のコメント
 - その他のコメント
 - 学校
 - 公民館
 - 公園
 - 水面
 - 歴史資源
 - 都市高速道路
 - 行政界
 - バス停・バス路線
 - 信号機

- 1 笹の台団地**
高台に位置する団地で、西側のフェンス沿いに坂を上ると、福岡タワーなど早良区から西区にかけての中街地が一望できます。夜には海沿いの観覧車のライトアップをはじめとした夜景が眼下に広がり、隠れた展望スポットです。
- 2 下長尾北公園**
地域の人々に桜の名所として親しまれている公園です。春にはたくさんの桜が咲き、花見を楽しむことができます。樋井川沿いに位置し、桜のほか、カナリーヤシ、藤棚もあります。
- 3 下長尾八幡宮**
応神天皇、神功皇后、玉依姫を祭り、産土神(自分たちが生活している土地を、生んでくださった神様)として崇拝しています。毎年春と秋に祭典を行っており、秋にはしめ縄飾りを行っています。境内には他に、遠安神(豊作の神)、八大竜王(降魔祈願の神)、愛宕様(火の神、開運の神)を祭る三社があります。また、長尾校区の有志の方々により献木された梅林もあります。
- 4 下長尾東公園**
樋井川沿いに位置し、市民の憩いの場となっています。芝生を甲斐に見立てた緑の橋には子供のオブジェがあることから、通称カメ公園と呼ばれています。週末などは親子連れで賑わっており、芝生を駆け回る子どもたちの姿を見ることが出来ます。園内にはトウカエデやクマノミも見られ、紅葉の時期には赤く染まった葉が目を惹かせてくれます。
- 5 樋井川**
昔、川の上に長い橋(とい)をかけて川向かいの水をとり運んでいたことから樋井川と名付けられたとされます。油山に源を発し、支流の糠塚川、七歳川を合わせ多摩川に注ぐ全長12.9kmの2級河川です。昔のように魚がすめるきれいな川にしようと地元の有志が少しずつ雑草を放流し、やさしい川づくり、まちづくりに取り組んでいます。
- 6 千灯明観音**
昔、子どもが病気で亡くなるが多かった時代、この地方が洪水に見舞われたある日、水が引いた川原で遊んでいた子どもたちが仏像が流れ着いているのを見つけた。村の人たちは、これも何かの縁だろうと、お堂を建立し、たくさんのろうそくをともしておまつりしました。これを千灯明と言い、以来毎年7月17日に祭りが行われています。
- 7 にこにこパーク**
堤団地の西側、一本松川沿いは、一周1000mのこにこパークとして整備されており、水遊びなどを楽しむことができます。ベンチなどの休憩施設も整備され、途中には地域の方々が育てているのを見つけた。村の人たちは、これも何かの縁だろうと、お堂を建立し、たくさんのろうそくをともしておまつりしました。これを千灯明と言い、以来毎年7月17日に祭りが行われています。
- 8 樋井川中央公園**
樋井川中央公園は、住宅地の真ん中にある比較的新しい公園で、たくさんの遊具が設置されており、週末などは子どもたちが遊ぶ姿を見ることが出来ます。所在地は城南区樋井川になりますが、西長尾校区に入っており、今回のウォーキングルートマップの拠点となる公園です。広場からは、油山の豊かな緑を望むことができます。
- 9 保存樹**
樋井川の川沿いに3本の大きな木がそびえています。選目には1本の木のように見えますが、2種類の木が3本根元を同じくして生えているのです。1本はマキの木、あとの2本はムクの木です。マキの木は樹齢約1200年、幹回り2.1m、ムクの木は幹回り約450年、幹回りは3.4mあります。昭和52年、市の保存樹に指定されました。
- 10 御子神社**
上長尾地区の氏神様で安産と子どもの守り神として敬い親しまれています。祭神である安産天皇がある年の毎日に、白い馬に乗ってこの地を通り過ぎるとされたとし、しめ縄に引かかかって井戸に落ち、おとくなりになったということで、以来この地区では、白い馬は釣れない、井戸は掘らない、正月のしめ縄は張ってはいけないといわれています。
- 11 桜原と歌碑**
昭和59年、道路拡幅工により、樹齢約50年のソメイヨシノ9本の中の1本が切り倒され、気が付いた住民が「花あわれめはあと二つだけの開花をゆるし給え」と短歌を枝に吊し、これを知った当時の市長は「桜花惜しむ大和心のうらやとわに句わん花の心は」と短歌を枝に吊し、この結果、道路拡幅工は一時的にストップされ、生き残った8本の桜が今も輝き続けています。
- 12 長住中央公園**
長住校区の中央に位置する公園で、広いグラウンドには少年野球の練習などが行われています。昔から賑わったアカマツ林やクスノキなどの木々も豊かで、地域の憩いの場となっています。また、洗面所建物付近には「陸軍」や「二〇二」と番号を表した境界石が整備保存されており、長住の歴史を語る貴重な遺跡となっています。
- 13 鹿助池(鹿助公園)**
鹿助公園は、南側の池名「桜公園」と北側の「鹿助池」とに分かれています。桜公園には、約60本の桜があり、花見の名所になっています。鹿助池には蓮が池全体に広がり、お盆のころにはきれいな花を一面に咲かせ、幻想的な風情となっています。また、鹿助池の両側の広場は、高齢者や子どもたちのスポーツの場として利用されています。
- 14 市菜池(長丘中央公園)**
長丘中央公園と隣接する市菜池を囲む公園は、住民参加のワークショップで整備された光景的な事例です。自然を活かし、自然に親しめるような整備という意見に基づき、まちの真ん中、自然がいっぱいの池と森の公園ができました。2004年に行われた住民参加によるワークショップを経て工事が行われ、水面にせりだしたデッキやカラー舗装による両回廊などが整備され、安らぎある空間ができあがっています。
- 15 新市菜池**
新市菜池は、長丘3丁目にある治水池で、閑静な住宅地の中にあります。南側には遊歩道に鴻巣山を眺めることができ、蓮のきれいな水面には、四季折々の山の姿が映し出されます。2004年に行われた住民参加によるワークショップを経て工事が行われ、水面にせりだしたデッキやカラー舗装による両回廊などが整備され、安らぎある空間ができあがっています。
- 16 鴻巣山**
長丘のシンボルとして住民から愛されている鴻巣山。南区と中央区の境にあって東西に並び、南に長丘、北に平尾公園、小池を抱える高約100mの自然豊かな山です。整備された遊歩道は木々の緑に囲まれ、鳥のさえずりが心を和ませてくれます。展望台からは鴻巣山、宝珠山、福岡の街、多摩川、志賀島、能古島、玄界灘を一望でき、市民のオアシスとして親しまれています。